平成25年度　上田市わがまち魅力アップ応援事業　審査調書

氏名

№		1	2	3	4	5	6	7	8
団体名		下之条自治会	御所自治会	千曲町自治会	中之条自治会	加美幡そば愛好会	川辺･泉田連合自治会「川泉融和会」	上田道と川の駅　おとぎの里	上田原地域活性化協議会
代表者		中村光次	荻原武人	西澤節男	丸山正幸	松井和夫	松本　圭蔵	石井孝二	中村實
事業名		天白山石段看板設置事業	地名の由来と地域の歴史遺産を活かした魅力あるふるさとづくり事業	“子どもや高齢者に優しく思いやりのある町”千曲町、町づくり事業	中之条地域の歴史遺産を文書化し、絆を深める取組み	荒廃農地を有効活用した地域コミュニティ活性化事業	「産川･湯川 アレチウリ撲滅作戦」外	「モニュメント型遊具の制作と活用」とプレイゾーン（幼児の遊び場）設置」	上田原地域の歴史や文化を地元の児童に伝承する事業
実施場所		下之条天白山	御所公会堂	千曲町自治会内	中之条公民館	神畑地区	産川･湯川流域6km	上田道と川の駅	川辺小学校周辺
事業内容		看板を設置し、石段の清掃及び草刈り等を実施し、さらに入り口付近にあじさい（30本）を植栽し、訪れる人たちの環境整備を図る。	4月：遊歩道の整備（原峠）、5月：御所地域史跡巡り 4月～9月：冊子「御所の歩み」の原稿作り 10月：歴史講演会、1月：冊子「御所の歩み」印刷製本	①ふれあい農園とお花畑の新設（4月～11月） ・老若男女を問わず、みんなが参加できるようにし、町民間の親睦を図る。 ②書道教室の開設と図書施設の新設（4月～習字月1回、図書室毎週） ・放課後集会室へ子供たちが集まり、子ども同士の触れ合いの場を作る。 ③パソコン教室の開設 ・これからますます必要とされるパソコン技術を高齢者も取得し、有意義な生活を送ってもらうために実施する。（4月～2回） ④前年度までパソコンに入力が完了した福祉マップ等の有効活用（通年）	年間：既収集資料の整理、構成、未収集資料の調査･収集 6月：外部講師による郷土史の講演会 11月：中間発表会	荒廃した農地へのソバ栽培を通して、農地の有効活用と地域の自然環境の保全、別所線沿線の田園景観の向上を図る。	第1期　「産川･湯川アレチウリ撲滅作戦」計画 第2期　倉澤住宅草刈り･戦国武将の墓地整備 第3期　「産川･湯川の中洲の整備とゴミ拾い」	■モニュメント型遊具の制作と活用 ①通行車両へのサインになると同時に施設PRともなり、併せて小学生以下を対象とした遊び場ともなる、上田駅と川の駅のイメージキャラクター（唐猫伝説をモチーフとした「猫」）をデザインした「ファファ（空気を圧送する事により膨張させた室内を形成する遊具）」を設置し来訪者に利用して頂く。 ②天然木を利用した遊具（木馬）の制作と設置（モニュメントの脇に設置）及び利用。・・里山の間伐採を活用し、おとぎの里会員の手づくりにより制作し来訪者（児童対象）に利用して頂く。 ■幼児の遊び場設置･活用 室内にスポンジ又はウレタン製のブロックにより、幼児対象の遊び場（預かり所）を設置する。 ■遊具の日常管理と安全利用の為の係員の育成。（設置及び利用初期における管理については、専門業者の指導により行う。）	5月中旬　上田原地域の歴史と文化講演会開催（川辺小学校体育館） 5月下旬　上田原の戦い（天文17年2月）に纏わる和太鼓演奏の児童の練習開始 6月下旬　川辺小学校創立140周年記念音楽会での地元児童の太鼓演奏披露 7月下旬　9月に行われる眞田幸村公出陣ねぶた祭りの参加に向けてのねぶた絵及びねぶた大太鼓の制作開始（川辺小学校児童及びPTA、育成会で制作） 9月上旬　眞田幸村公出陣ねぶた祭り参加（川辺小学校児童及び地元住民）
補助申請年数		3年	3年	5年	5年	3年	1年	1年	1年
今年度申請事業費（全体事業費）		28万円（417万円）	178万円（244万円）	47万円（260万円）	11万円（150万円）	100万円（238万円）	215万円（215万円）	316万円（316万円）	281万円（281万円）
今年度補助申請額（全体補助予定額）		19万円（200万円）	137万円（200万円）	28万円（163万円）	11万円（150万円）	82万円（200万円）	200万円（200万円）	200万円（200万円）	200万円（200万円）
（1） 公益性	･地域への波及効果が期待でき、地域の住民にその効果が還元される事業であるか。 ･応募団体の特定の者だけが利益を受ける事業ではない。 ･市民の税金の使われ方としてふさわしい事業である。 ･地域の課題を捉え、その解決に結びつく事業である。								
（2） 継続性 ･ 発展性	･市の支援が終了した後も継続的に取り組まれることが期待できるか。 ･新たな事業（展開）に発展する可能性があるか。 ･多くの住民に共感される事業であるか。								
（3） 有効性	･補助金に見合う効果が期待できるか。 ･総合計画「地域まちづくり方針」に沿った内容であるか。 ･経費の使途が適切であるか。 ･事業内容に一貫性（ストーリー）があるか。								
（4） 妥当性 ･ 計画性	･事業の主旨や目的が地域の実情に照らして明確であるか。 ･事業計画が実現可能な体制（規模）や内容であるか。 ･地域の合意が得られているか。								
（5） 独創性	･地域の特性を生かした取組であるか。 ･独自の発想や斬新なアイデアによる個性豊かな事業であるか。 ･他の模範となる先進的な内容であるか。								
評価できない理由、意見									

5段階評価	点数	換算
高く評価できる	5	28
評価できる	4	20
ある程度評価できる	3	16
あまり評価できない	2	8
評価できない	1	0
高く評価できる	5	28
評価できる	4	20
ある程度評価できる	3	16
あまり評価できない	2	8
評価できない	1	0
高く評価できる	5	20
評価できる	4	16
ある程度評価できる	3	12
あまり評価できない	2	4
評価できない	1	0
高く評価できる	5	12
評価できる	4	10
ある程度評価できる	3	8
あまり評価できない	2	4
評価できない	1	0
高く評価できる	5	12
評価できる	4	10
ある程度評価できる	3	8
あまり評価できない	2	4
評価できない	1	0